

## プロゲステロン及び安息香酸エストラジオールを有効成分とする牛の発情周期同調用膣内挿入剤（案）

### 1. 概要

( 1 ) 品目名：プロゲステロン及び安息香酸エストラジオールを有効成分とする牛の発情周期同調用膣内挿入剤  
商品名：プリッド テイゾー及びユニプリッド

( 2 ) 用途：牛の発情周期の同調

本剤は、投与時に一時に放出されるようカプセルに内包された安息香酸エストラジオールと、徐放化加工されたプロゲステロンからなる製剤である。

( 3 ) 有効成分：プロゲステロン

安息香酸エストラジオール

( 4 ) 適用方法及び用量

薬剤の挿入：本剤 1 個をとり、あらかじめ消毒した挿入器の先端部に産道粘滑剤を塗布し、本剤を装着する。牛の外陰部を消毒した後、本剤を装着した挿入器を子宮頸管部に達するまで静かに膣内に挿入する。挿入器を操作して本剤を膣深部に留置し、外陰部から延びた紐を残して挿入器を引き抜く。

薬剤の除去：本剤を 12 日間膣内に留置後、外陰部から露出している紐を引いて膣より本剤を引き抜く。なお、外陰部から紐が露出していない場合は、直腸検査により本剤を確認し、手で引き抜く。

( 5 ) 諸外国における使用状況

本製剤は、欧米等において承認、使用されている。

### 2. 残留試験結果

本製剤については、主剤について卵巣摘出牛及び乳牛における投与試験により、血液及び乳中のプロゲステロン及びエストラジオール濃度の測定が実施されており、食品安全委員会における食品健康影響評価においても、「製剤の使用によるプロゲステロン及びエストラジオール濃度の変動は、通常の生理的変動の範囲内であり、投与終了後には速やかに消失すると考えられる。」と評価されている。

### 3 . ADI の評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、平成16年3月19日付厚生労働省発食安第0319002号により、食品安全委員会あて意見を求めたプロゲステロン及びエストラジオールに係る食品健康影響評価については、以下のとおり評価されている。

プロゲステロン及び安息香酸エストラジオールを有効成分とする牛の発情周期同調用腔内挿入剤は、投与と同時に放出される安息香酸エストラジオールと投与期間中徐放されるプロゲステロンを主剤とする製剤である。

安息香酸エストラジオールは生体内で $17\alpha$ -エストラジオールに代謝され、エストロゲンとしての生理作用を示す。プロゲステロン及び $17\alpha$ -エストラジオールについては天然型のホルモンであり、かつ本製剤が所定の用法・用量で使用される限りにおいて、主剤であるホルモン濃度がウシの内因性ホルモンの生理的変動の範囲を超えて残留する可能性は極めて低いと考えられる。

これらのことから、プロゲステロン及び安息香酸エストラジオールを有効成分とする牛の発情周期同調用腔内挿入剤については、適切に使用される限りにおいて、食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できると考えられる。

### 4 . 残留基準の設定

食品安全委員会における評価結果を踏まえ、残留基準を設定しないこととする。